

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	<p>ビントゥアン省 30 名〔初等教育 20 名 幼児教育 10 名（各地区から 3 名ずつ選出）〕、アンザン省 30 名〔初等教育 20 名 幼児教育 10 名（各地区から 3 名ずつ選出）〕のその省のインクルーシブ教育の核となるキーティチャーを選んで、7 月に 2 週間研修を実施する。インクルーシブ教育とは、通常の学級に障害ある児童も一緒に学ぶ教育である。2 週間研修を受けたキーティチャーは、自身の地区に戻り、地区内の全小学校の管理者とインクルーシブ教育の教師、全幼稚園の管理者に 2 日間から 3 日間の研修を実施する。地区研修を受けた管理者や教師は、各小学校、各幼稚園に戻り、校内研修を実施する。これにより、アンザン省の全小学校の教師と全幼稚園の教師がインクルーシブ教育研修を受ける事ができる。</p> <p>その省の 30 名のインクルーシブ教育のキーティチャー（核）を育てる事により、キーティチャーが地区内研修を実施して、地区内研修に参加した管理者や教師が、自身の学校で校内研修を実施する。</p> <p>その省内にインクルーシブ教育研修システムを構築する。</p> <p>-----</p> <p>We choose 30 key teachers (20 primary education, 10 kinder garden education) in Binh Thuan province and 30 key teachers (20 primary education, 10 kinder garden education) in An Giang province, and provide 2 weeks training course for inclusive education. After 60 key teachers receive 2 weeks training course, they provide 2 or 3 days district training course for principal or teachers who receive children with disability in the class in primary school and kinder garden. And then principal and teachers who joined district training course provide school training course in their own school. Finally all teachers in primary schools and kinder gardens can receive training course of inclusive education.</p> <p>This is the way which we build the system of training course of inclusive education for primary school in Binh Thuan province and An Giang province.</p>
(2) 事業の必要性（背景）	<p>現在ベトナムの障害ある児童の就学率は全体で 40%程度とみなされる。ベトナムの障害ある児童 80 万人のうち、46 万人は初等教育さえ受けられていないのが現状である。ベトナムにおいて特別学校は各省に 1 校しかなく、田舎に住む障害ある児童が町の特別学校に通うというのは不可能に近い。さらに、どこの特別学校も、受け入れには限度があり、毎年 200 人以上の入学を断っているという事情もある。</p> <p>インクルーシブ教育は、ベトナムの政府の方針、特別学校の数が少ない現状、世界的な障害ある児童に対する教育の潮流から、非常に妥当な事業である。当事業は、公立小学校の教師と公立幼稚園の教師にインクルーシブ教育研修を実施し、教師が障害ある児童を受け入れ、より多くの児童が幼児教育、初等教育を受けられることを目的としている。</p> <p>ベトナム政府は、各省の教育局にインクルーシブ教育推進を奨励しているが、各省の教育局、地区の教育室、各小学校の現場では、インクルーシブ教育を進める中で多くの問題を抱えている。</p> <p>1) 小学校に障害ある児童を受け入れても、ほとんどの教師がインクルーシ</p>

ブ教育研修を一度も受けた事のない状況で、教師はストレスを抱え、障害ある児童は学習する事がストレスになる。

2) ベトナム政府は、障害ある児童に診断書があれば、担任の教師は IEP (個別教育計画書) を作成することを義務としているが、地方では、障害ある児童に診断書が出せる医者もほとんどいなくて、政府が定めた人民委員会の診断書作成チームも地方においては稼働していない。

3) ベトナム政府は、障害ある児童に診断書があれば、担任の教師は、クラスの児童数を 5 人減らせると定めているが、実際ほとんどの小学校では児童数は減らされていない。

4) ベトナム政府は、教師が障害ある児童を受け入れると手当がつくと定めているが、実際手当はない。

5) 重度の障害ある児童がクラスに在籍している場合、補助教育が必要となるが、ベトナム政府は補助教員を雇用する資金を各省に出してくれない。

ビントゥアン省

ビントゥアン省内の 6 歳から 14 歳までの学齢期にある児童は 53,882 人で、936 人が障害をもっている。この内、766 人の児童が近隣の小学校に通っている。

2017 年事業実施前の問題は、省内の障害ある児童を受け入れている小学校の教員 646 人中、インクルーシブ教育研修を受けた教師は 92 人で、554 人の教員はなんの研修も受けていないので、教員はクラス現場で非常に混乱している事である。

現場教師の問題意識は、①障害ある児童に何度教えても上達しない。②他の児童への授業準備だけでも忙しいのに、障害ある児童のレベルに合わせた勉強の準備までできない。③障害ある児童は授業中大声を出す。④障害ある児童は授業中クラスを走り回る。⑤障害ある児童は、暴力をふるう。⑥障害ある児童の特性がわからない。⑦障害ある児童の試験や進級の対応がわからない。

2017 年、2018 年と 2 年間の事業成果により、

事業実施前 2016 年度

学齢期における障害ある児童の数：936 人

特別学校に通う児童の数：4 人

近隣の小学校に通う児童の数：632 人

障害ある児童の就学率：68%

研修を受けた教師の数：92 人

事業実施後 2017 年度

学齢期における障害ある児童の数：763 人

特別学校に通う児童の数：4 人

近隣の小学校に通う児童の数：632 人

障害ある児童の就学率：83%

研修を受けた教師の数：528 人

当事業後、研修を受けた教師の数は 92 人から 528 人になった。

また、事業実施前、障害ある児童を受け入れた教師は混乱しているという問

題も、以下のように改善されている。

- * 研修後、先生方の障害ある児童へのかかわり方が優しくなった。それに伴い、同級生の障害ある児童へのかかわり方も優しくなり、障害ある児童は、学校が好きになり、学習も進歩している。
- * 研修後、先生方は障害ある児童に対して、教科だけではなく、音楽活動や体育活動にも参加を促すようになった。そのため障害ある児童は、自信もつようになった。
- * 研修後、先生方は障害ある児童に対して、生活スキルも教えるようになった。そのため、先生と児童のストレスが軽減された。退学者も減った。以前、先生方は、障害ある児童に対して教科を教える事に集中していたので、それが先生や障害ある児童に大変なストレスをもたらした。
- * 研修後、先生方は障害ある児童に対して、小道具や絵を多く用いて、個別学習を提供している。障害ある児童の学習は進歩している。

現在の課題：先生方は、障害ある児童のアセスメント（観察手法）と IEP（個別教育計画書）の作成を難しいと感じている。また、両親が子供の教育に無関心である事に悩んでいる。

地域に児童を診断してくれる医者または医療チームがいない事に悩んでいる。

対応：事業 3 年目の研修は、障害ある児童のアセスメント（観察手法）と IEP の作成演習により力を注ぐ。

両親へのコンサルテーション手法の演習も研修科目に加える。

地区内で、他の団体と協力をする手法を皆で考える科目も加える。

アンザン省

アンザン省の 6 歳から 14 歳までの障害ある児童の人数はおよそ 1,061 名で、現在、障害ある児童の中で、初等教育を受けている人数は、特別学校 7 名、インクルーシブ小学校 392 名 合計 399 名、初等教育を受けている児童はおよそ 37% のという状況である。

現在およそ 662 名の障害ある児童が、特殊学校にも近隣の小学校にも通えないで、学習する機会もなく、ただ家にいるだけで何もせずに過ごしているという状況である。

また、184 人のインクルーシブクラスの教員のほとんどは研修をうけていないため、現場では非常に混乱している状況である。

2017 年、2018 年と 2 年間の事業成果により、

事業実施前 2016 年度

学齢期における障害ある児童の数：1,061 人

特別学校に通う児童の数：7 人

近隣の小学校に通う児童の数：392 人

障害ある児童の就学率：38%

研修を受けた教師の数：31 人

事業実施後 2017 年度

学齢期における障害ある児童の数：792 人

特別学校に通う児童の数：174 人
 近隣の小学校に通う児童の数：434 人
 障害ある児童の就学率：78%
 研修を受けた教師の数：311 人

当事業後、障害ある児童の就学率は 38%から 78%になり、研修を受けた教師の数も 31 名から 311 名になった。

障害ある児童を受け入れた教師が研修に参加した事によりビントゥアン省同様、現場の問題も改善されている。

現在の課題：先生方は、障害ある児童のアセスメントと IEP（個別教育計画書）の作成を難しいと感じている。また、両親が子供の教育に無関心である事に悩んでいる。

地域に児童を診断してくれる医者または医療チームがない事に悩んでいる。

30 名のキーティチャー中に、地区研修での講師に自信がないキーティチャーが何名かいる。

対応：事業 3 年目の研修は、障害ある児童のアセスメント（観察手法）と IEP の作成演習により力を注ぐ。

両親へのコンサルテーション手法の演習も研修科目に加える。

地区内で、他の団体と協力をする手法を皆で考える科目も加える。

事業 3 年目の 2 週間研修はキーティチャーが講師となって模擬授業を実施する。

●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性

「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標 4：すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。

4.5：2030 年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にあるこどもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。

ベトナムの地方の省にはたった 1 校しか特殊学校がなく、交通網も大変不便な田舎に住む障害ある児童が、町の特別学校に通うというのは経済的な問題等で不可能に近い。そのため、ベトナムの地方に住む障害ある児童の就学率は平均 40%と低い。ベトナムの地方にすむ障害ある児童が近隣の小学校で学ぶ事ができる事は、上記の SDGs に該当する事業である。

●外務省の国別開発協力方針との関連性

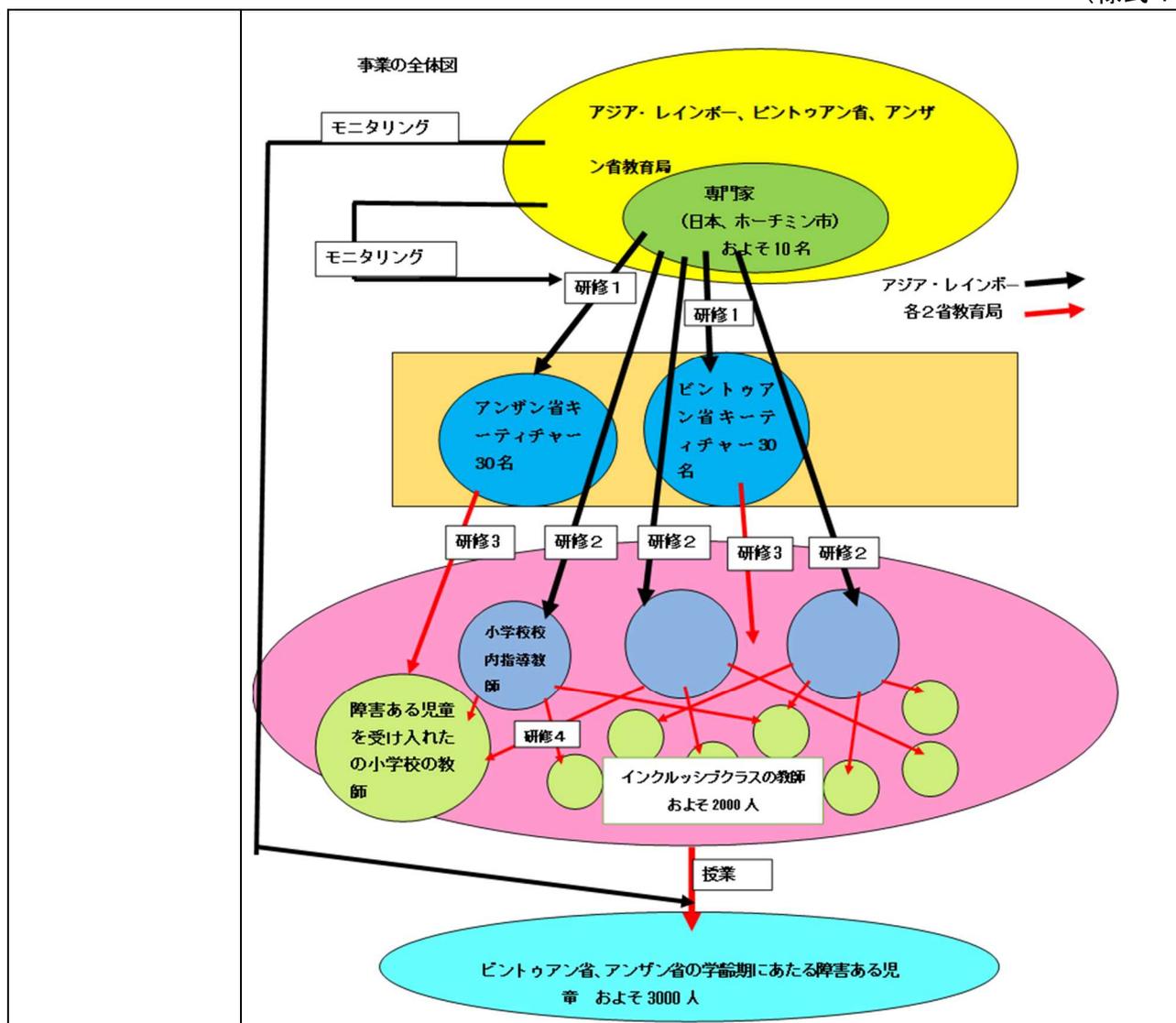
当事業は外務省の「対ベトナム社会主義共和国国別開発協力方針」のうち、大目標の「ベトナムの抱える脆弱な側面及び公正な社会・国づくりを包括的に支援する。」に該当する。

中目標の(2)脆弱性への対応の「社会保障、社会的弱者支援等の分野で体制整備等の支援を行う。」に該当する。

●「T I C A D V Iにおける我が国取組」との関連性

(3) 上位目標	ビントゥアン省全域の小学校、アンザン省全域の小学校でインクルーシブ教育研修システムが構築され、他省のモデルとなっている。
(4) プロジェクト目標	<p>プロジェクト目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビントゥアン省とアンザン省で、障害ある児童が適切な教育を受ける事ができる（成果 1：地区内でインクルーシブ教育研修システムが構築されている）。 ・より多くの障害ある児童が居住地の小学校に通うことができる（成果 2：各小学校の教室で、障害ある児童が適切な学習をすることができる）。
(5) 活動内容	<p>① 事業 1 年目は、主に障害ある児童の認識、教師のインクルーシブクラスの運営、IEP（個別教育計画書）の作成方法に焦点をあてた研修を実施した。</p> <p>② 事業 2 年目は、より実践的な、IEP（個別教育計画書）を作成する上で不可欠な障害ある児童の観察手法、障害ある児童の両親へのカウンセリング手法、クラス内で同級生が障害ある児童を支援する見守り隊の結成方法、小学校内で、校内のインクルーシブ教育を支援するリソースチームの結成方法などの研修を実施した。</p> <p>③ 事業 3 年目の 2019 年は、60 名のキーティチャーが 2 週間研修で講師を務め、参加者からの様々な質問を受ける模擬講師研修を実施する。 （ビントゥアン省全 10 地区、アンザン省全 11 地区）</p> <p>成果 1 のための活動 1</p> <p>1) キーティチャー(※) 育成研修毎年 7 月 (N 連の予算で実施) 研修 1 ※各省の教育局が小学校の校長・副校長・教育局の職員から選任 事業 1 年目に選任された 30 名のキーティチャーは、3 年間研修を受ける。</p> <p>2) キーティチャー(※) 育成実地研修毎年 4 月 (N 連の予算で実施) 研修 1 7 月実施の 10 日間研修に加え、4 月に、アンザン省の 30 名のキーティチャーは、ホーチミン市かドンナイ省かラムドン省のインクルーシブ教育のモデル校を訪問して、2 日間の実地研修を受ける。</p> <p>ビントゥアン省 当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人専門家 2 名、ベトナム人専門家 5 名～10 名）が、ビントゥアン省の 20 名の初等教育のキーティチャーに対して、1 回 10 日間、キーティチャーの育成研修を実施する。また、ビントゥアン省の 10 名の幼児教育のキーティチャーに対して、1 回 10 日間、キーティチャーの育成研修を実施する。それにより、ビントゥアン省の 10 地区に、各 3 名のインクルーシブ教育のキーティチャーを育成する。</p> <p>アンザン省 当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チームが、アンザン省の 20 名の初等教育のキーティチャーに対して、1 回 10 日間、キーティチャーの育成</p>

	<p>研修を実施する。また、アンザン省の 10 名の幼児教育のキーティチャーに対して、1 回 10 日間、キーティチャーの育成研修を実施する。それにより、アンザン省の 11 地区に、各 2 名から 3 名のインクルーシブ教育のキーティチャーを育成する。</p>
	<p>成果 2 のための活動 2 各小学校校内指導教師研修 毎年 10 月 (N 連の予算で実施) 研修 2</p> <p>当会が結成したホーチミン市の障害児教育専門家チームが、ビントゥアン省、アンザン省で、それぞれ 200 名を対象にしたインクルーシブ教育研修を、各省 1 回 3 日間: 幼児教育、各省 2 回 6 日間: 初等教育対象の研修を実施する。それによりビントゥアン省、アンザン省の各小学校と各幼稚園に 1 名~3 名のインクルーシブ教育の校内指導教師を育成する。 (事業 3 年目で各省 300 校の小学校)</p> <p>* ホーチミン市障害児教育専門家チームには、先行事業で育成されたドンナイ省とラムドン省の 60 名のキーティチャーの内、数名の特に優秀なキーティチャーも参加する。</p> <p>成果 1 のための活動 3 各地区の地区内研修 毎年 8 月~10 月 (ビントゥアン省、アンザン省各地区教育室の予算で実施、アジア・レインボーの専門家による適時の支援) 研修 3</p> <p>ビントゥアン省、アンザン省の各地区では、各地区 3 名のキーティチャーが自身の所属する地区内の障害ある児童を受け持つすべての教師 (およそ 50 名~100 名) に対して、必要時研修を実施する。</p> <p>成果 2 のための活動 4 各小学校、幼稚園の校内研修 毎年各学校の適時 (ビントゥアン省、アンザン省各地区教育室の予算で実施、アジア・レインボーの専門家による適時の支援) 研修 4</p> <p>ビントゥアン省、アンザン省の各小学校と各幼稚園では、専門家により育成された校内指導教師が、障害ある児童を受け持つすべての教師に対して、必要に応じて研修を実施する。</p> <p>活動 5 各省全地区対象モニタリングの実施</p> <p>アジア・レインボーは、毎年、各省、全地区でモニタリング及びカウンセリングを実施する。モニタリングでは、毎年 2 省の全地区の小学校を訪問して、各地区のインクルーシブ教育研修の構築状況を把握する。</p> <p>直接裨益人口 ビントゥアン省、アンザン省のインクルーシブクラスの教師およそ 2000 人 ビントゥアン省、アンザン省の学齢期にあたる障害ある児童およそ 3000 人</p> <p>間接裨益人口 ビントゥアン省、アンザン省の学齢期にあたる障害ある児童の両親、祖父母、兄弟およそ 6000 人</p>



(6) 期待される成果と成果を測る指標

① 成果

成果 1：地区内でインクルーシブ教育研修システムの構築が達成されている。
成果 2：各小学校の教室で、障害ある児童が適切な学習をすることができる。

② 成果の確認方法

- * アジア・レインボーは、毎年、各省、全地区でモニタリング及びカウンセリングを実施する。モニタリングでは、毎年2省の全地区の小学校を訪問して、各地区のインクルーシブ教育研修の構築状況を把握する。
- * 毎年1月に各省の教育局は、障害ある児童の就学率のデータをアジア・レインボーに提出する。

③ 成果をはかる指標

成果 1：補足資料説明 P3 参照
成果 2：補足資料説明 P4 参照

(7) 持続発展性	<p>事業終了後は、各省の教育局が主体となり、申請事業によって育成されたキーティチャーと各省教育局が協力して、「1. キーティチャーが地区内の教師に研修を実施する。」「2. 地区内研修を受けた教師が、今度は自身の小学校内で研修を実施する。」という研修システムを継続していく。</p> <p>この事業で最も力を入れているのは、ビントゥアン省、アンザン省のキーティチャー 60名の育成である。各省の各地区で数名のキーティチャーが協力し責任をもって、自身の所属する地区の障害ある児童を受け入れた教師に対して、必要時に研修を実施できる能力を育成すれば、持続的にその地区では研修が実施される。</p>
-----------	---